

“あたりまえ”の生活を地下から支える

# ながおかの下水道



編集：広報WG『縁の下のチカラボ』by 長岡市下水道課

私たちは生活の中で多くの水を使い、使い終わった水は流しています。これらの生活排水は、下水道管へと流れます。普段は目にする事のない下水道ですが、見えないところで私たちの安全・安心で快適な生活を支えています。

## 下水道の役割

### 役割1 まちをキレイにする

家庭で使って汚れた水(汚水)は排水管を通して下水道管へ流れます。下水道管が整備されると汚水が直接まちに流れなくなるため、まちが清潔に保たれます。

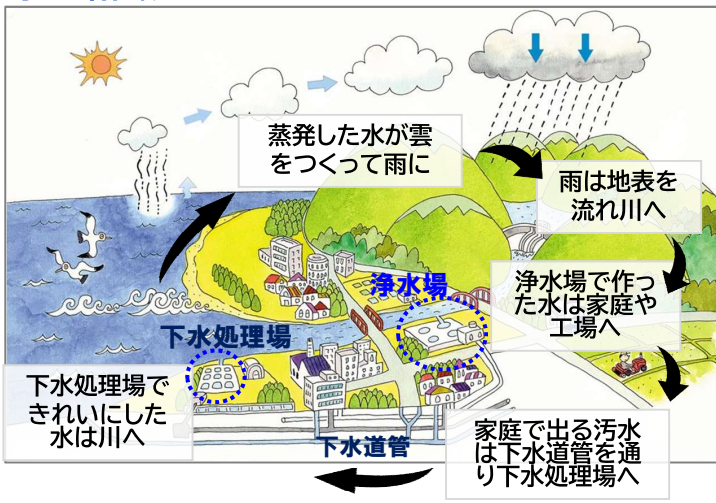
### 役割2 大雨からまちをまもる

近年、短時間で局地的に大雨が降る「ゲリラ豪雨」の発生が年々増えています。市街地の雨をすみやかに排除し私たちの暮らしを守ります。

### 役割3 川や海をまもる

家庭や工場から出た汚水は下水道管を通して下水処理場へ。きれいになった水は再び川や海へ戻します。

## 水の循環



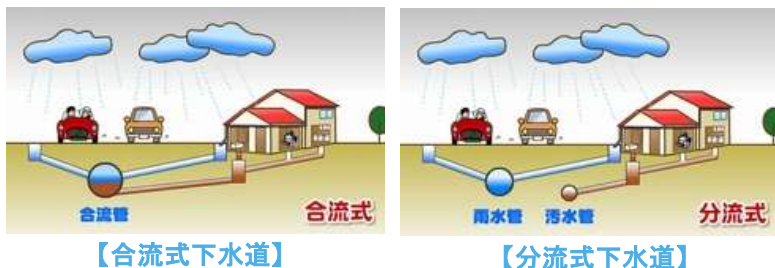
## 合流式と分流式

家庭から出た生活排水は道路の下にある下水道管を通して下水処理場へ運ばれます。下水を送る方式には合流式と分流式があります。

合流式とは、汚水と雨水を同じ管で運ぶ方式です。分流式とは、汚水と雨水をそれぞれ別々の管で送る方式です。

長岡市では長岡地域の川東中心市街地は合流式下水道、その他の地域は分流式下水道で整備しています。

本市の下水道の整備延長は、合流管が165km、汚水管が1,750km、雨水管が281km、合計2,196kmです。



## 下水道の歴史

長岡市は大正13年1月、全国で7番目に上下水道事業を同時に着手しました。

長岡駅と中心とする地域(約238ha)で実施され、当時としては画期的な事業で高く評価されています。

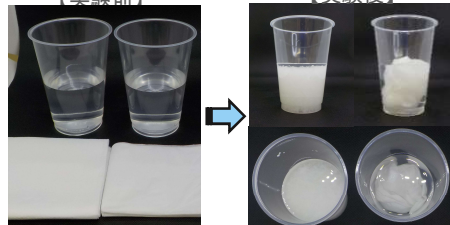
当時の施工状況



## みなさんへのお願い

トイレにはトイレペーパーなどの水に溶けるもの以外流さないでください。ティッシュペーパーなどは水に溶けずに排水管を詰まらせる可能性があります。

トイレペーパーとティッシュペーパーの溶解実験  
【実験前】 【実験後】



## 数字でみる長岡市の下水道

93.0%

下水道普及率

2,196km

敷設されている下水道管延長

21施設

市内にある  
下水処理施設の数

※新潟県平均77.7% ※北海道から沖縄県までの距離と同じ

(数値は令和3年度末現在)